

令和6年度 第3回 東播臨海広域ごみ処理連絡会議

会 議 録

1 開会及び閉会の年月日時並びに場所

開会：令和7年2月18日（火）14時00分

閉会：令和7年2月18日（火）14時20分

場所：エコクリーンピアはりま 管理棟4階 大会議室

2 会議に出席した者の職及び氏名

会長（議長）	高砂市長	都 倉 達 殊
委員	加古川市長	岡 田 康 裕
委員	稲美町長	中 山 哲 郎
委員	播磨町長	佐 伯 謙 作

3 議事

- (1) 令和6年度 広域ごみ処理事業について
- (2) 令和7年度 広域ごみ処理事業について
- (3) その他

4 議事の経過及び確認事項

令和6年度 第2回 東播臨海広域ごみ処理連絡会議（令和6年12月2日（月）開催）会議録を確定。

- (1) 令和6年度 広域ごみ処理事業について

- ① 事務局から議事(1)について報告した。

- ・令和6年度高砂市広域ごみ処理事業一般会計予算及び電力売払収入の取り扱い等について

- ・エコクリーンピアはりま ごみ処理施設 令和6年度運転実績及び見込み

- ② 議事(1)について全委員が確認した。

- ③ 質疑応答

- 1) 基金積立額の目標について

- ・播磨町長

基金積立額を20億円以上とする目標について、電力地産地消事業を開始して以降は、年間約5,000万円の積立額となると説明があったが、その根拠は何か。

- ・事務局

電力地産地消事業では、エコクリーンピアはりまの発電電力を安く地域新電力会社に売却し、その分公共施設の電気料金を下げて脱炭素化を図る考え方である。ただし、それを理由に各市町のごみ処理費用が負担増になってはならないと考えており、各年度の可燃ごみ処理に係る運営費への充当額及び年間約5,000万円の積立額が得られるようなエコクリーンピアはりまの売電収入額を想定している。この場合でも、既積

立額と合わせて20年間で約25億円の積み立てが可能であると考えている。

(2) 令和7年度 広域ごみ処理事業について

- ① 事務局から議事(2)について報告した。
 - ・令和7年度 広域ごみ処理事業にかかる予算について
 - ・令和7年度 広域ごみ処理事業に係る2市2町の経費負担見込内訳
- ② 議事(2)について全委員が確認した。

(3) その他

- ① 事務局から赤穂市からの可燃ごみの受入について報告した。
- ② 全委員が確認した。

(傍聴者1名)

以 上